

年度/Academic Year	2022	
授業科目名/Course Title (Japanese)	DXを加速し、変化を生み出すリーダーシップ	
教員名/Instructor (Japanese)	広石拓司	
講義概要/Course description		
DX推進においては、管理職であっても「定まった目標を達成する」だけでなく、「正解のない問いに挑むよう動機付け、対話し、試行錯誤から学んでいくチェンジ・リーダーであること」が求められます。感情的知性やファシリテーション、メンタリングなどのソフトスキルを使いこなし、チェンジを主導するリーダーシップとは何か考えます。		
達成目標/Course objectives		
DX推進に不可欠な多様な職種で連携するチームの運営、社外・異分野との協働・共創の進め方を理解し、実践する技法を身に着ける		
授業計画/Lecture plan		
講義回		
1	イントロダクション	DXにおけるチーム運営、協働・共創の意味と、それを推進するのに必要なリーダーシップについて学ぶ
2	トランスフォーメーション・リーダー	変化を促すトランスフォーメーション・リーダーの要件を学ぶ
3	自分自身を内省する	自分はDXに何を期待しているのか、変化にどう向き合っているのか内省する。
4-5	対話のファシリテーション	効率的に答を出すのではなく、「正解のない問い」を探求し、協働を進めるファシリテーションについて体験を通して学ぶ。
6-7	チームを守り立てるコミュニケーション	内発的動機付けの意義と促し方を学ぶ、1 on 1、メンタリングなどの効果的な進め方を学ぶ
8-9	サステナビリティ・キーコンピテンシー	未来を描き、協働を通して戦略的に実現する人材に求められる考え方・動き方を学び、自分の現場での実践方法を考える
10	チームづくり戦略を描く	DXを推進できるチームを考え、そのチームを構築し、効果的に運営するために自分の担う役割を考える
授業方法/Method of instruction		
前半 対面、後半 オンライン講義		
成績評価方法/Evaluation		
授業への貢献(50%)およびレポート(50%)を評価する		
参考書/Reference books		
佐藤正久・広石拓司「SDGs人材からソーシャルプロジェクトの担い手へ」(みくに出版)		